

# 芝山湿地ぞより

第3号 平成27年7月13日 千葉県立船橋芝山高等学校・里山生態園「芝山湿地」 ロゴデザイン：齊藤優貴美

## 芝山ずんだ餅プロジェクト！

7月9日、「湿地に学ぶ」受講者と「生物」受講者有志15名で、芝山湿地で採れたエダマメを試食しました。収穫したばかりのエダマメはスクロースを多く含んでいるので甘い！また、地元の農家から分けていただいた同じく採れたたのエダマメを使って、夏の味覚「ずんだ餅」を作る実習を行いました！山のようなエダマメを茹で、サヤから取り出し、すり鉢で搥り、とても手間がかかりましたが、美味しいずんだ餅が出来ました！



## 田植え Part2

芝山湿地では、「神仁穂」（かんにほ）という品種のイネを栽培しています。今年は、モチ品種の「ハッピーヒル」も作ります。今年2回目の田植えは、皆けっこう上達し、しっかりと植えることが出来ました。

「ハッピーヒル」は、自然農法の開祖・福岡正信氏が育成した陸稲（おかぼ）として栽培することもできる、乾燥にも強い品種です。

「終戦直後、ビルマの奥地から日本兵が持ち帰った長稈多粒のモチ種と、日本の穂重型の品種を交配して、福岡正信氏が1986年に固定。」 野口種苗研究所サイトより



## 身近な水を調べる

「生物（理系）」で、飯山満川とその支川の水質調査を行いました。各ポイントに分かれて水を採取し調査を行いました。





# フィールドワーク「上飯山満村を観る」

「生物（文系）」では、フィールドワーク「上飯山満村を観る」を行いました。

船橋芝山高校を含む一带は、江戸時代まで「上飯山満村」と呼ばれていました。「飯山満」という地名は、谷津田で穫れる豊富なお米を連想させますね。

今回のフィールドワークでは、旧上飯山満村のエリアを歩き、王子神社・大宮神社を訪問し、鎮守の森・富士塚・蒟蒻神社の碑などを見学し、自然と暮らしてきた地域の歴史を学びました。



## 生徒の感想

大宮神社は、スサノオノミコトが祀られている神社だということで、私はとても興味がありました。私は、祖母の家が島根県にあるということもあり、出雲大社に行ったことがありました。祖母の家の近くの川に、スサノオノミコトの伝説があり、以前よりその話を聞いたことがありました。川のほとりには、ヤマタノオロチの銅像があったり、地元の神社にはヤマタノオロチが埋まっていたとの伝説の八本杉があります。それが千葉の神社にも祀られていることを知って驚いたし、千葉とどのような関係があるのかなあと不思議に思っています。

また、実際に周辺を歩いてみて、昔多かった姓が今でも多いことを自分の目で見て、そのまま子孫が受け継がれてるんだなと思いました。私の知らない時代にも、ちゃんと歴史があって人が生きて証を見ることができたような気がしました。

<Yさん>

## 飛ノ台史跡公園博物館博物館

「生物（文系）」では、課外授業として飛ノ台史跡公園博物館の見学を行いました。船橋芝山高校の周囲は、取掛西貝塚・飯山満東遺跡・高根木戸遺跡など、縄文遺跡が多く発掘されています。取掛西貝塚から出土したヤマトシジミの貝殻、高根木戸遺跡から発掘されたイヌの墓などを学芸員さんの詳しい解説で、詳しく解説していただき、狩猟採集であったといわれる縄文時代のヒトの暮らしについて、興味深く学ぶことができました。

